



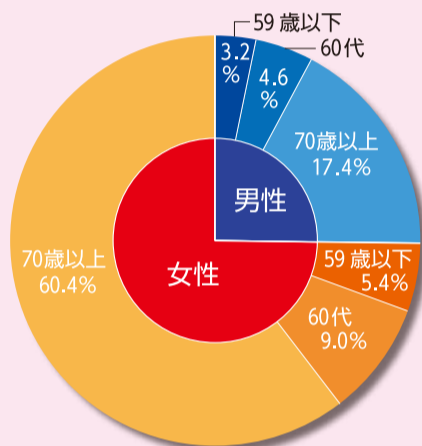
STOP! 特殊詐欺

「自分は大丈夫」は危険です!

昨年、区民の特殊詐欺の被害は、約130件、約1億8千万円に上りました。平成30年からは減少しているものの、依然として深刻な被害が発生しています。区内では、特に高齢の女性の被害が目立ち、70歳以上の女性の被害が全体の約6割を占めています。「自分は大丈夫」と過信せず、少しでもおかしいと感じたら、家族や警察に連絡しましょう 問 危機管理課防犯担当 ☎3647-4399、FAX3647-9651

「自分は大丈夫」と思っている高齢者は特に注意!

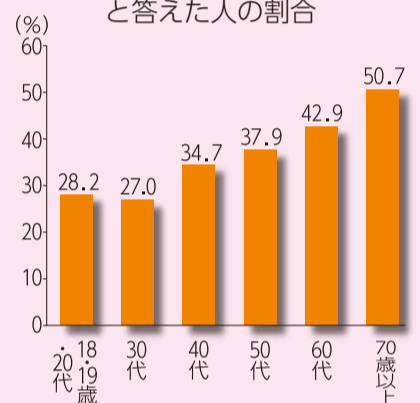
都内の特殊詐欺の被害者年齢・性別割合



出典：警視庁「令和元年における特殊詐欺の状況について」

特殊詐欺をめぐる年代別意識

「自分は被害に遭わないと思う」と答えた人の割合



出典：内閣府「特殊詐欺に関する世論調査」(平成28年度)

急増! 「キャッシュカード詐欺盗」

警察官や金融機関等の職員を装って、キャッシュカードを盗み取る「キャッシュカード詐欺盗」が急増しています。昨年、区民も約30件の被害に遭いました。十分注意してください。

その手口とは…(一例)

- カードが偽造されている可能性がある。金融庁職員を自宅に向かわせる

警察官役 被害者
- カードを止めるので暗証番号のメモと一緒に封筒に入れて

金融庁職員役
- 封筒に割り印を押すので印鑑を持ってきて

偽物(無関係)のカード 被害者のキャッシュカードと暗証番号
- 被害者が離れた隙にすり替えて、偽物のカードが入った封筒を渡す
- 「3日間保管するように」と被害者に伝え立ち去る
- 盗んだカードで現金引き出し

⚠ 警察、金融機関がキャッシュカードを封筒に入れさせることは絶対にありません。

➡ **キャッシュカードを渡さない!**
暗証番号を他人に言わない!

還付金詐欺、給付金詐欺にも注意!

「医療費の還付金がある」などと言って、被害者にATMを操作させ、犯人の口座に送金させる「還付金詐欺」も増加しています。また、特別定額給付金を名目にした「給付金詐欺」にも警戒が必要です。

- ⚠ 区や総務省などが現金自動預払機(ATM)の操作をお願いすることは絶対にありません。
- ⚠ 給付金の受給にあたり、手数料の振り込みをお願いすることは絶対にありません。
- ⚠ メールを送り、URLをクリックして申請手続きを求めることは絶対にありません。

自宅の電話に防犯対策を!

自宅の電話を常に留守番電話に設定し、電話の相手を確認することが被害防止に有効です。また、区では、警察署を通じて、区内65歳以上の方が居住している世帯を対象に、自動通話録音機を無償で貸し出しています。自動通話録音機は、発信者に対して警告メッセージを流すため、さらに効果が期待できます。希望される場合は、区内の警察署にお問い合わせください。



▲自動通話録音機

おかしいと感じたら、家族や警察に連絡を!

深川警察署 ☎3641-0110
 城東警察署 ☎3699-0110
 東京湾岸警察署 ☎3570-0110

